

平成29年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

—大阪市交通局—

(大阪市西区九条南1-12-62)

受賞者の取り組み

大阪市交通局は、地下鉄として初めてエレベーターを設置して以降、ホームから地上まで移動できるよう全駅にエレベーターを設置しました。また、可動式ホーム柵の設置時に電車とホーム間の段差や隙間を解消する整備を進めていることや、多機能トイレに使用が集中しないように工夫するなど、ハード面における駅施設の改善に取り組んでいます。

ソフト面では職員全員による見守り体制を構築し、一般のお客さまにも共助のお願いに努めています。

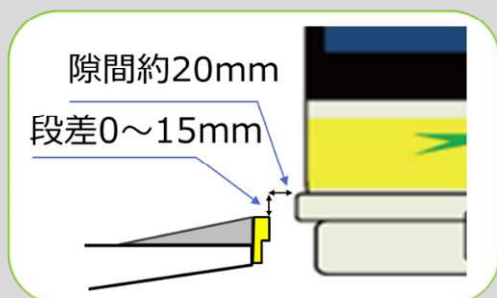


可動式ホーム柵

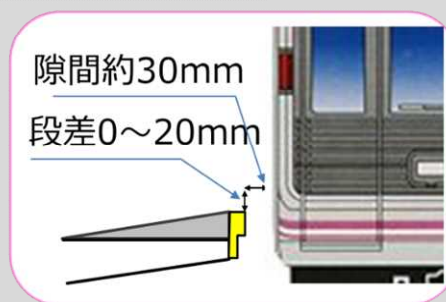


段差なくスムーズに乗降可能

長堀鶴見緑地線



千日前線



隙間解消整備

講評

可動式ホーム柵の整備とともに、併せてホームを嵩上げて段差の解消や、車両とホームとの隙間を埋める櫛状ゴムを自ら開発・設置し、車椅子利用者でも自力で乗降できるようにする等、創意工夫をこらし、率先してバリアフリー化対策に力を入れて取り組んでいることを高く評価しました。

第11回(H29年度)国土交通大臣表彰受賞